

令和5年産 紀南のみかん産地情報

2023/07/7

1. 本年の早生みかんは、満開日が4月29日と前年より3日程度早く、平年より4日程度早くなった。

満開後は曇雨天日が多く日照量が少なかったことから、第一次生理落果は多くなり、第二次生理落果もだらだらと続いた。現在は順調に生育している。



2. 極早生・早生みかんは、園・樹によりバラツキはあるが着果はやや少ない傾向にあり、現在高品質果実生産のためマルチ被覆やフィガロン散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、日南1号で果径は33.1mm（前年比102.1%、平年比100.0%）と前年・平年並みであり、早生みかんは34.4mm（前年比109.9%、平年比112.1%）で前年・平年よりやや大きくなっている。

3. 今年産の生産予想量（7月7日時点）

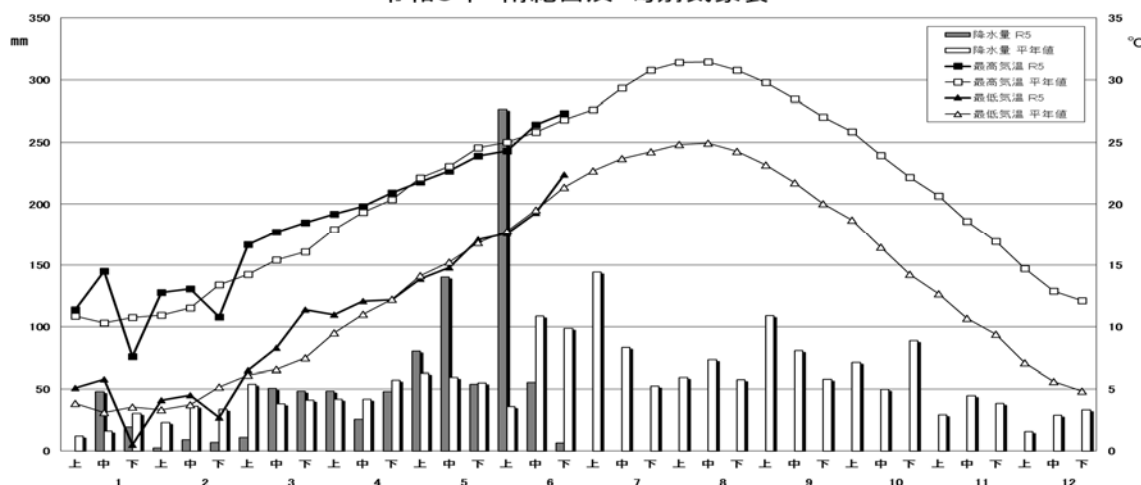
品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	180.3	2,829	98.6%	93.5%
早生	446.4	5,751	96.9%	94.0%
合計(普通含む)	630.1	8,596	97.4%	93.8%

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、そうか病やカミキリムシの発生が見られる。また6月上旬の台風の影響もあり、風ずれによる傷果が確認されている。

5. 果実生育期の気温は、5月中旬以降ほぼ平年並みで推移した。また降水量は5月中旬、6月上旬で平年を上回ったが、6月中下旬は平年を下回り少なくなった。

令和5年 南紀白浜・旬別気象表



南紀白浜気象データより